



事務所から見える木曾大橋

【**中信森林管理署 奈良井森林事務所**】
首席森林官 百瀬 厚
奈良井森林事務所は、長野県中部の木曾谷北端にあたる旧榑川村に位置し、平成十七年の市町村合併により、現在は塩尻市に所在し



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

管轄する国有林には信濃川流域の最上流部の一部をなす奈良井川が流れ、東西の稜線部は、日本海へ流入する信濃川と太平洋へ流入する天竜川、木曾川の分水嶺となっています。
同国有林内には、明治時代、肥沃な耕地を有しながら、かんがい用水に苦しむ伊那郡西箕輪村（現伊那市）の農民たちが、木曾谷か



ジャンボカラマツ

ており、約六、〇二七畝を管轄しています。
榑川地区は木曾路の入口であり、中山道の贄川宿と関所、木曾漆器の町木曾平沢、奈良井宿があり、多くの観光客が訪れるとともに、奈良井国有林には林野庁の「森の巨人たち百選」に選定され、塩尻市の天然記念物にも指定された「ジャンボカラマツ」が、その雄大な姿を見せてくれています。

また、奈良井川では国有林に取水口を設置した小水力発電所建設事業の工事が進められており、木質バイオマス発電所とともに、国の施策である再生可能エネルギー利用に国有林の豊富な資源が有効活用されるよう進めていきたいと

らの引水を苦勞して完成させた、「木曾山用水」があり、本来、日本海へ流れるはずの奈良井川上流の水は、この水路を経て太平洋へ流れることとなります。
人工林の樹種別面積構成は、カラマツが全体の五〇%、次いでヒノキが四二%となっており、管内の人工林はその殆どがカラマツとヒノキで構成されています。ヒノキについては高齢級の高品質材も多く、昨年度については、中信地区はもとより、木曾地区、名古屋地区でも高値で取引されました。
塩尻市では信州F・P・O・W・E・Rプロジェクトとして、木材加工施設の稼働に続き、木質バイオマス発電所の整備が進められており、A材からD材までの国産材の安定的な供給に寄与していきたいと考えています。



奈良井森林事務所の2名 (右が筆者)

考えています。
今後このような貴重な自然や歴史を後世に残せるよう大事にしていきたいと思っています。
■未来の担い手へのメッセージ
現在の国有林には、林業の先頭に立ち牽引する役割、安定的な木材供給、自然保護、治山等、多種多様な役割と広い視野での仕事求められるます。
林業再生への道のりは、遠く険しいかも知れませんが、百年先の森林づくりを見据えて、仲間とともに苦勞を分かち合いませんか。

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



木曾土建工業株式会社

東 勇生
ひがし ゆうき

(二〇一七年入社)



■事業の概要

請負事業・製品生産請負事業（伐

採造林一貫作業外 奈

川第一 4）

発注者・中信森林管理署

事業地は長野県松本市奈川第一国有林で、皆伐四・九〇鈔、間伐二九・八三鈔、地拵四・九〇鈔で素

材搬出量は二、三〇〇立法の請負事業です。

また、当該事業は、生産性向上モデル事業として指定された事業であることから、事業開始前から、当社木材部全員で生産性向上のためアイデアを出しながら事業を進めることができました。

■現場での役割・魅力

一番大事にしているのは、無災害かつ、工期内に事業を終わらせることです。そのために、日々邁進しています。



集材作業

当社に入ってから、高性能林業機械をはじめとする重機を扱う機会が増え、先輩方の操縦を見て効果的な集材、無駄のない造材の仕

方などを勉強しながら実際に作業することが、すごく楽しいです。

どうすれば効率的にできるか考えながら仕事をするのは、プレッシャーでもあり、励みにもなります。失敗を繰り返しながら少しずつ技術が身につけてきていることを実感しています。

また、必要な資格取得ができることや、施業の終わった山をみて達成感を味わえるのは、最大の魅力だと思っています。



ハーベスタによる造材作業

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

林業を始める前は中華料理店で

調理師として働いていました。調理師の仕事に限界を感じた時に、叔父の経営する林業会社に就職させてもらいました。初めは右も左もわかりませんでしたが、林業の魅力を知ってやりがいを感じていくうちに8年が経っていました。

そして木曾土建工業株式会社に入社させていただいて2年が経ち、林業の良い面も課題も知って、これからは技術面や要領など勉強することばかりですが、とてもやりがいを感じています。

■未来の担い手へのメッセージ

林業は危険もあり、体力的にきつい仕事だと思っています。しかし、正しい知識と技術を身に着ければ安全に仕事をすることができます。

それにより味わえる達成感や、危険な作業の中で身につく集中力、緊張感は林業にしかないものだと思っています。

次第に機械化が進む中、若い人の力も必要です。少しでも興味のある方は是非一度職場見学に来てみてください。

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



株式会社 中部森林技術コンサルタンツ

須田 勇輝

(二〇一八年入社)



業務の概要

請負設計：国有林治山全体計画

調査及び治山実施設計

計（岐阜森林管理署

神崎（小淵谷）ほか）

発注者：中部森林管理局

本業務は、岐阜県下呂市小坂町落合国有林八〇林班他において、平成三十年七月豪雨による山復崩壊や土砂の流出等の抑止を図るための治山施設を計画するものです。

現場での役割、魅力

平成三十年七月上旬の豪雨では、岐阜県下呂市北部の御嶽山付近を中心に、局所的な集中豪雨により落合国有林において土石流が発生し、下流に位置する濁河温泉街に大きな被害をもたらしました。私は、今年度に入社したばかりであり、災害復旧の現場も今回が初めてでしたが、実際に土石流直後の現場を目の当たりにし、自然災害の脅威に非常に驚きました。

調査業務では、土石流によって流れ出た石の計測や、光波測距儀により地形の測量を行いました。これらの調査結果をもとに今後の被害を抑止する治山施設を計画します。一連の仕事は、安心・安全な生活のため多くの人の役に立っていると思うと非常にやりがいを感じます。



石の大きさを測定

林業土木の仕事に

入ったきっかけ

私は幼い頃から森の中で木登りをしたり、昆虫を捕まえたりすることが好きでした。そのため、私は森林や自然を守る仕事をしたいと思ひ、長野県の林業大学校で森林について学び、治山をはじめとする森林土木のコンサルタンツ会社に入社しました。治山という仕事は非常に多岐にわたり、治山施設の実施設設計だけでなく、治山施設の配置計画や森林の整備計画などがあり、自分にとって未知なことが沢山あります。これからより多くのことを学んでいきたいと思っています。

未来の担い手へのメッセージ

仕事ではわからないことが沢山あり大変苦労していますが、面白いことや楽しいこともあります。私は今年一年様々な業務に携わらせていただきました。治山の仕事は勉強することが多く大変ではありますが、仕事をこなすうちに、治山の知識や技術が少しずつ身についていると感じたときは楽しくなります。

また、こういった災害のあった現場の被害の拡大を抑え、人々の生活を守っていく仕事でもあり、とてもやりがいを感じます。

多くの人は治山の仕事を知る機会が少ないと思いますが、このように非常に魅力的な仕事であり多くの人の人に関心を持ってもらいたいです。



土石流により既設の治山ダムに異常堆積した状況